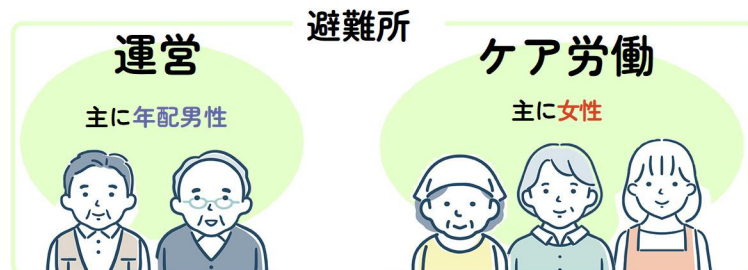


女性視点の防災

阪神・淡路大震災から31年。その間、日本各地で大きな地震が発生し、茨木市も2018年6月、大阪府北部地震(マグニチュード6.1)により多くの市民が被災しました。

2024年1月に発生した能登半島地震では、避難所の運営や避難生活の環境改善に女性の視点が十分に反映されていない事例がありました。いつ起こるかわからない災害時に、女性や多様な人々が困らないようにするには、ふだんからどのように取り組んでいけばいいのでしょうか。

問題点① 避難所での性別役割



- ・運営方法の決定は男性
- ・炊き出し・献立作り、トイレ掃除などのケア労働は主に女性が長時間にわたり無償で担っている
- ・性別によって役割が固定化されている

「女性がするもの」という性別役割意識
(ジェンダーバイアス)

問題点② 女性や多様な人々のニーズの把握

- ・仮設トイレが遠い場所にあり、経路も暗い
 - ・下着や生理用品の配布を男性スタッフが行う
 - ・パーティションの高さが十分でない など
- 男性のみでは気が付かないことがある

自治体からの職員・
住民組織のリーダーに
女性が圧倒的に少ない

避難所運営スタッフ



被災者の半分は女性
なのに女性スタッフが少ない

問題点③ 女性の失業

震災の影響のみならず、家族・親族のケアのために
出勤できない→失業

平常時の「仕事」における
女性の脆弱性



「彩りあふれる能登の復興へ令和6年能登半島地震の女性の経験と思いに関するヒアリング調査」より
(2024年減災と男女共同参画研修推進センターほか)

災害対応力を強化する女性の視点

— 男女共同参画の視点からの
防災・復興ガイドライン —



7つの基本方針や
避難所チェックシートなどが
掲載されています
内閣府男女共同参画局 令和2年

よんなな防災会女子部

茨木市の女性が立ち上げ、女性視点の防災に取り組んでいます



47都道府県の公務員をはじめ、民間・学生等幅広い方々が有志で参加している「よんなな防災会」。この女子部を茨木市の女性2人が立ち上げました。女性や男女共同参画の視点に配慮した防災・減災をキーワードにSNSを中心に繋がり、深めていく活動をしています。

よんなな防災会女子部(以下「女子部」)は、「ゆるゆる、無理なく、マイペースで」を合言葉にSNSでつながる381名(2025年12月現在)のコミュニティです。

防災に「がつつり」取り組む人だけでなく、「少し気になる」「できる範囲で関わりたい」という人も気軽に参加しています。社会学でいう「弱い紐帯(ちゅうたい)」は、密な関係よりも広くゆるやかなつながりが力を発揮するとされますが、まさに女子部のつながりがこれです!

みんなが無理ない範囲で関わる活動ですが、2024年能登半島地震では、「大丈夫?」のひと声から、珠洲市の女性や子どもへの下着等の早期提供支援を行いました。さらに、内灘町と企業をつなぐことで、パーティションの提供が実現しました。誰かのひと声が行動になり、そのつながりが命や尊厳を守ることになりました。

また、国の防災イベント「ぼうさいこくたい」では、内閣府男女共同参画局と共催で「防災×ジェンダー」をテーマにセッションやワークショップを開催したり、女子部員おすすめの防災冊子の紹介と展示したりすることで、全国の防災女子がリアルにつながり交流できる場づくりをしています。

こうした取り組みを通して、防災に取り組む女性に「1人じゃない、ここに仲間がいる」と伝えたい。

これからも女子部は、ゆるゆるとつながり続けます。

私たちが立ち上げました!



管理者
多田明世さん

元茨木市危機管理課長
3児の子育てや難病の
看病を経験。「防災×
ジェンダー」活動がラ
イフワーク



管理者
森下美穂さん

元子育て支援課利用
者支援専門員、5児
の子育てや幼稚園教
諭等を経験。「福祉
防災」活動がライフ
ワーク



「共同参画」令和7年12月号
男女共同参画局発行
「ぼうさいこくたい2025 in
新潟」でのよんなな防災会
女子部の活動紹介もあります

女性防災リーダー育成事業

茨木市危機管理課と男女共生センターローズWAMが連携、毎年講座を開催しています

茨木市では平成25年度から、自主防災組織の運営を担い、方針決定過程へ参画できる女性防災リーダー育成事業を危機管理課と男女共生センターローズWAMが連携して実施、「防災女性リーダー講座」をローズWAMで毎年開催しています。

今年度は

“わたしにできる”を見つける防災講座

令和8年1月21日(水)14:00~16:00

ローズWAM 5階501・502にて

茨木市危機管理課 防災女性リーダー講座

“わたしにできる”
を見つける
防災講座

災害時に役立つ
知識と食の体験会

①防災のおはなし
(14:00~15:00)
通常の防災講座から、災害時の食生活が重要な役割を担う防災女性リーダー育成事業の一環として、防災食を体験していただきます。
講師：よんなな防災会女子部
管理者：多田明世さん、森下美穂さん

②防災食ワークショップ
(15:00~16:00)
防災食の重要性や、災害時の食生活が重要な役割を担う防災女性リーダー育成事業の一環として、防災食を体験していただきます。
講師：茨木市自主防災組織連絡会防災士部会
防災士：古川美穂さん

令和8(2026)年
1/21 水
14:00~16:00

■主催・お問い合わせ
茨木市立男女共生センターローズWAM
〒577-0012 茨木市西4番7号
TEL: 072-620-9920
https://www.city.ibaraki.osaka.ln/kibou-shimin-wam

■申込は12/22(月)5:00から
WEB・電話・窓口にて受付
WEB: 防災女性リーダー育成事業
TEL: 072-620-9920
※申込は、申込フォームに記入し、添付していただく。
072-620-9920